

災害に強いまちへ重機や救助艇を配備

B&G財団の助成金を活用

第2回定例会は、6月8日から10日までの3日間の日程で開かれました。一般質問は6名が登壇し、町政運営や将来展望についていただきました。（質問内容は6～12ページに掲載）

町長提出案件は、令和7年度一般会計補正予算などの専決処分6

件、報告5件、令和8年度一般会計補正予算1件、介護保険特別会計補正予算1件、条例の一部を改正する条例の制定2件、工事請負契約の締結1件の全議案16件で原案通り承認・可決しました。

防災事業

3650万円

- ・B & G財団の助成金を効果的に活用
- ・各種防災資機材の導入や、備蓄倉庫の整備、防災研修等に係る経費



スライドダンプ



油圧ショベル



近年激甚化する傾向にある災害に備え、地域の防災力を高めるための予算です。助成金を活用し、有事の際に町民の命を守るための避難環境や資機材を整備します。

空き家対策事業

1469万円

- ・制度拡充に伴う申請、相談件数の増加に対応するため空き家除却（解体）事業補助金を増額



町内の安全確保や景観維持、跡地利用を促し、ニーズに応えるため空き家解体補助の枠を拡大しました。住みよい生活環境の維持を目指します。

鳥獣被害対策事業

195万円

- ・緊急銃猟の協力者への報償費を確保
- ・相談件数の増加に伴う、やぶの刈り払いへの補助を増額
- ・クマなどの誘引源となる「不要果樹」の伐採補助を増額



やぶの刈り払い後



町内での鳥獣出没や相談件数の増加を受け、地域の安全を守るための対策を強化します。見通しを悪くしているやぶの刈り払いや、けものを入りに寄せ付ける原因となる不要果樹の伐採補助金を増額し、出没しにくい環境づくりを進めます。

議案の採決結果は5ページに掲載

質疑応答

第2回臨時会

デジタル学習機材

議員 電子黒板15台、書画カメラ15台、LEDビジョンの導入によって子どもたちへの学習効果にどのような期待をしているのか。

教育長 大画面化や即時共有機能の向上により、子どもたち同士が同じ画面を見て学び合いを深める「協働的な学び」への高い効果が期待されています。



デジタル学習機材のイメージ図

ナフサ不足

議員 中東の原油調達危機でナフサ不足などが心配されるが、B & Gのプール改修工事でシンナーを含めた材料の確保は大丈夫なのか。

教育課長 国際情勢の影響で塗料原材料の入荷が不安定な状況になっていますが、請負業者の方にはプールオープンまでに工事が完了するようにお願いしています。

第2回定例会

振興公社経営状況報告

議員 令和8年度の各施設の光熱水費が前年対比で増額の支出計画だが、ふるさと納税関係だけが15・4%減の要因は。

ふるさと応援推進室長 他の施設に関しては電気、ガス、灯油を使用しているが、この部門は電気だけを減額で計画しています。

鳥獣対策

議員 若あゆ温泉のクマ問題に対して対策は行っているのか。

ふるさと応援推進室長 温泉やセンターハウスに熊よけスプレーを配置し、コテージには熊よけ鈴を置いて温泉入浴時に携帯するようにしています。

B & G財団助成金

議員 B & G財団からの防災拠点整備事業助成金3450万円※の交付要件と活動条件はどのようなものか。

※総事業費3650万円の内200万円は町一般財源

町長 主な交付要件は概ね25人程度の消防団員、町職員による機械操作研修として受講が必要になります。また、活動条件は、基本的にはB & G海洋センターのある市町村で災害が発生した場合に相互支援することになっています。



若あゆ温泉での熊対策として配置している熊よけスプレーと熊よけ鈴